

OPAC 2.0のたたき台

なんかあった方がよいと思うので載せておきます。

- (1)図書館員のためではなく、利用者のためのOPAC
 - ソート順は書誌ID順などではなく、レリバンスの高い順に
 -
- (2)利用者が育てるOPAC
 - 「集合知」：書誌へのタグ付与(件名を補完するものとして)
 - 利用者サイトからのトラックバック
 - コメント付与
 - 図書館外・学外のサービス・データとのマッシュアップ
- (3)ダイナミックでリッチなOPAC
 - インクリメンタルサーチなどのすばやい画面遷移
 - OPACを見なくても新着図書を漏らさず掬う
 - <新着RSSから予約/取寄へのシームレスな利用>
 - # 図書館って元からロングテールのはずなのですが、OPAC上でロングテールが活用できているかというとできていないのではないかと...
- (4)すべての公開可能なデータをすべての利用者に必要な形で
 - すべての公開可能なデータ：書誌・所蔵・典拠
 - 必要な形で：XML、CSV、EndNote、評価用DB...
 - 自分の情報はセキュアな形で（貸出状況、貸出履歴）。
- (5)標準的なデータ形式、プロトコルを普通に使えるように。
 - データ形式：RSS、OAI-PMH、Z39.50、OpenSearch...
 - 認証：LDAP...

名前:

コメント:

投稿